

木津川市地域公共交通総合連携協議会 会議結果要旨

会議名	第3回木津川市地域公共交通総合連携協議会		
日時	平成20年8月20日(水) 午前10時～午前12時	場所	本庁第2会議室
出席者 (出席者... 欠席者...)	委員	<p>【学識経験者】 中川 大委員(副会長・議長)、 大庭哲治委員</p> <p>【市民代表】 永松迪哉委員、 田中英治委員、 森岡宣之委員、 鶴岡由雄委員、 長柄光信委員、 中岡武司委員、 大西 清委員、</p> <p>【事業者】 竹並秩男委員、 佃 侑吉郎委員、 大久保篤士委員、 津田秀夫委員、 船橋文人委員、 筒井基好委員 代理：安澤芳和(城南タクシー株式会社所長)、 金原俊夫委員 代理：武田忠和(加茂タクシー株式会社営業部長)、 加藤 隆委員、 小森義一委員、 佃 寿己委員 代理：松石康志(奈良交通労働組合執行委員)、 木村 保委員、 代理：戸根喜正委員(山城ヤサカ交通労働組合副委員長)、</p> <p>【行政機関】 阪部光雄委員 代理：戸田辰司(京都運輸支局運輸企画専門官)、 羽田祐治委員、 中島廣長委員、 西村紀寛委員、 今西伸之委員、 梅津康彦委員、 河井規子委員(会長)、 今井洋一委員、 炭谷育夫委員、</p>	
	その他	<p>【オブザーバー】 堤 俊哉(国土交通省近畿運輸局企画観光部交通企画課長)</p>	
事務局	田中市長公室長、大西企画課長、山本課長補佐、西村主任 株式会社地域未来研究所 田中雅宣、義浦慶子、堀部良治、前田雅人		
傍聴者	2人(うち 報道関係者1人)		
議題	<p>1. 開会</p> <p>2. 副会長あいさつ</p> <p>3. 議事</p> <p>(1) 報告事項 地域再生分科会の委員について</p> <p>(2) 協議事項 木津地域(きのつバス)の再編方針について 路線再編の方向性について 加茂地域及び山城地域における再編計画について 路線の再確認について 運行ダイヤについて 運賃及び加茂コミュニティバスの運行形態について 社会実験の実施について 公共交通だよりの発行について</p>		

	<p>(3) その他 次回協議会の日程について その他</p> <p>4. 閉会</p>
<p>会議結果要旨</p>	<p>1. 開会 事務局より開会を宣言した。</p> <p>2. 副会長あいさつ 中川副会長より、開会にあたりあいさつがあった。</p> <p>3. 議事 議長から、運営内規の報告に基づき、会議録の署名委員として、森岡宣之委員を指名した。</p> <p>(1) 報告事項 地域再生分科会の委員について 第2回の本協議会において承認いただいた「地域再生分科会設置規程」に基づいた地域再生分科会の委員について、「No.1 地域再生分科会の委員について」を用いて報告した。</p> <p>(2) 協議事項 木津地域（きのつバス）の再編方針について 「No.2 きのつバスの再編方針（案）の整理」を用いて、きのつバスの再編方針（案）について提案し委員の承認をいただいた。</p> <p>加茂地域及び山城地域における再編計画について 「No.3 木津川市バス路線再編内容（案）」「No.4 加茂地域・山城地域コミュニティバス運行ダイヤ（案）について」「No.5 運賃及び加茂コミュニティバスの運行形態について」「No.6 今年度の社会実験の実施について（案）」を用いて、加茂地域や山城地域の路線における運行ダイヤ、加茂コミュニティバスの運行形態、木津・加茂・山城地域の再編後のバス運賃（案）について提案し、承認いただいた。</p> <p>公共交通だよりの発行について 第2回本協議会で承認いただいた情報提供について、「No.7 公共交通だより（案）」を用いて、広報きづがわ9月号に折り込み予定の公共交通だより（案）について提案し承認いただいた。</p> <p>(3) その他 次回協議会について 日程が決まり次第連絡する旨を伝えた。 その他</p>

	<p>4. 閉会</p>
<p>会議経過要旨</p>	<p>1. 開会 会議結果要旨のとおり。</p> <p>2. 副会長あいさつ 会議結果要旨のとおり。</p> <p>3. 議事 (1) 報告事項 地域再生分科会の委員について 会議結果要旨のとおり。 【配布資料】 ・No.1 地域再生分科会の委員について</p> <p>(2) 協議事項 木津地域(きのつバス)の再編方針について 会議結果要旨のとおり。 【配布資料】 ・No.2 きのつバスの再編方針(案)の整理 【主な意見・質疑等】(...質疑・意見、▶...質疑・意見に対する返答) ・1時間間隔の分かりやすいダイヤに変更することについては、とても共感できる。 ・路線を木津駅で分割することになるが、今まで直通で利用されていた方が不便になるため、運賃面やダイヤ面で十分に考えて欲しい。 ・木津駅のターミナルが若干狭いため、バスが滞留できない事も含め調整が必要である。 ・奈良交通の路線バスと競合する路線については、今後話し合いを進めていかなければならないと思うが、出来るだけ木津川市の意向に添うように、対応を考えていきたい。 ▶ ・分割される路線については、運賃、ダイヤともに十分考えていきたい。 ・木津駅西口ターミナルの広さの問題、ダイヤの問題について、十分考慮して検討したい。 ・今後、奈良交通と木津川市の調整事項が増えることになるかと思うが、協力をお願いしたい。 ・木津駅のターミナルの広さは、きのつバスだけが利用するのであれば問題ないが、和束町からのバスや他の路線バスも利用するため、十分に検討することが必要である。</p> <p>きのつバスの木津駅～山田川駅間は、利用者が非常に多い区間である。この区間の運行本数を増やす計画はあるのか。</p> <p>▶ ・この区間は現状で20分～25分程度の間隔で運行している。再編後も同程度の運行本数を確保したい。</p>

・木津駅で路線が分割されることが気になることである。梅谷や州見台、鹿背山から、山田川駅や高の原駅方面を目的地とする場合、直通のバスで移動が出来なくなると思う。利用者にとって乗り換え抵抗というものは大きく、乗り換えが必要ならば出かなくなったり、移動手段を変更することになると思う。これらの方面から近鉄方面へ向かう利用者数などについて、調査した上で再編案を考えているのか、調査結果があれば教えて欲しい。

また、この案で再編するのであれば、木津駅での接続ダイヤについて十分検討して欲しい。

・直接乗り換えなしで近鉄方面へ向かうバスを、1日数本運行することも検討してはどうか。

・鉄道でもよく使われるやり方だが、あるところで系統だけが変わり、車両はそのまま運行という方法もある。このやり方だと、直通とほぼ変わらない。

▶ ・鹿背山や梅谷から近鉄方面へ向かう利用者数について、調査は特に行っていない。

・きのつバスの現状の課題として、路線が長いいため効率的な運行が出来ないところがある。乗り換えの抵抗感が出来るだけないようなダイヤなど、十分に検討したい。

・実際のバスの回し方は、鹿背山から木津駅に来たバスが、そのまま山田川方面に向かうことになるよう配慮したいと思う。また、木津駅で系統が変り利用する人の運賃が2倍にならないような工夫が必要である。

・全てのバス路線案は、ルートが木津川市内で完結している。コミュニティバスという性格上、仕方がない部分もあると思うが、住民は市内の中だけを移動する訳ではないと思う。

・木津川市は、関西学術文化研究都市を抱えているが、精華台や、光台、けいはんなプラザへ向かう路線は必要ないのか、あるいは、路線バスである程度対応可能と考えているのか。また、それは将来的な課題として考えているのか。

▶ ・将来的な課題として認識している。学研都市全体として、地域の方々の移動手段をどのように確保していくか大きな課題である。近隣市町、路線バス事業者など、関係機関と調整しながら検討していきたい。

将来的な課題ということだが、遠い将来ではなく、出来るだけ近い将来に実現して欲しい。

▶ ・コミュニティバスが市域を越えて運行してはいけないという決まりはない。利用者が多そうな路線があれば、検討していけば良いと思う。

・学研都市では、公共交通の整備が後追い的になっているため、街がなかなか成熟せず、自動車中心の街になってしまっている。良い街をつくっていくには、しっかりとした公共交通の整備が重要である。

・路線は時間的にも距離的にも合理的になったと思う。今後考えていかなければならないのは、乗り継ぎだと思う。木津駅で、きのつバスと山城路線が接続する。JRや近鉄といった鉄道ダイヤと、どの路線を接続しやすくするのか、優先順位

をつけることも重要ではないか。

・きのつバスは木津駅で路線が分割されるが、州見台や梅谷、高の原から近鉄方面については、奈良交通の路線バスが運行している。路線バスとコミュニティバスの役割分担も図れるのではないか。利用者の利便性を第一に考えて検討して欲しい。

▶ ・きのつバスは20分程度の間隔で運行するので、山城路線との接続も、ある程度可能ではないかと考えている。

・山城路線が木津駅まで延伸するため、山城地域から近鉄方面への利便性は向上すると思う。

加茂地域及び山城地域における再編計画について

会議結果要旨のとおり。

【配布資料】

- ・No.3 木津川市バス路線再編内容（案）
- ・No.4 加茂地域・山城地域コミュニティバス運行ダイヤ（案）について
- ・No.5 運賃及び加茂コミュニティバスの運行形態について
- ・No.6 今年度の社会実験の実施について（案）

【主な意見・質疑等】（…質疑・意見、▶…質疑・意見に対する返答）

当尾線は、回数券を購入していれば、加茂駅～浄瑠璃寺といった400円の区間でも、200円、つまり回数券1枚で利用可能なのか。

▶ 当尾線の料金については指摘の通りである。400円の区間であっても、回数券を利用すれば、他のコミュニティバス運賃と同様に割引があるため1回180円で利用できる。

きのつバスの再編は、いつ実施するのか、教えて欲しい。

▶ ・きのつバスの再編は、運行ダイヤ等の検討を進めた後、出来れば来年度4月から実施したい。

・きのつバスと加茂コミュニティバス、山城路線の1日乗車券のあり方など、運賃についても今年度検討したい。

・当尾線の料金が、一般の利用者と住民の方で異なることは問題ないのか。4条免許に限って言えば、共通にする必要があるが、コミュニティバスの運行では認められるのか。たとえば、400円の区間を200円と記載された回数券で乗車できれば、同一区間の料金設定が異なることになり、これは法的に許されるのか。

・当尾線を観光的な路線として捉えているのなら、土日の朝のJR大阪方面からの快速に接続できるようなダイヤが望ましいと思う。奈良交通では、奈良駅での9時台の利用者が非常に多くなっている。今の案では、JRが9:11に加茂駅到着、加茂山の家行きのバスが9:12に発車するため、接続がとれない。

▶ ・200円と記載された回数券で400円の区間を乗車できるのはおかしい。回数券の表記方法を工夫しなければならない。運輸支局と確認しながら検討していく。

・接続ダイヤについては、指摘の通りだと思う。一方、鉄道会社にはお願いしたいのは、鉄道がパターンダイヤ化されていれば、鉄道もバスも非常に綺麗なダイヤ

になる。端末のバスは、鉄道のダイヤに極力合わせてダイヤを設定しているが、鉄道がパターン化されていないため、鉄道と接続しにくい便が出てくる。公共交通全体のネットワークをしっかりとさせていくことが重要である。

・このような法定協議会で決められた運賃の扱いについて、確認しておく。

山城地域のダイヤについても、JR 加茂方面との接続を考慮してはどうか。

- ▶ JR は木津駅から 4 方面に路線があるので、ある程度どれかを優先してダイヤを設定する必要があるのではないかと思う。現在の案では、天王寺方面のダイヤに照準を合わせている。

障害者に対する割引は、1 種、2 種に関わらず半額となるのか。

- ▶ 現行通り、半額にすることを考えている。詳しくは確認して回答したい。

山城地域のバス停を設置するにあたり、公安と協議されているが、道路占用の話も出てくると思うので、道路管理者とも協議をお願いしたい。

- ▶ まず公安と安全面で確認したいと考えている。その上で、道路管理者と道路占用などについても協議したい。

再編後の運行経費については、どのように考えているのか。現在の負担額を大きく超えない形になるのか。

- ▶ 現在、コミュニティバスの運行には約 1 億 2 千万円の経費がかかっており、そのうち約 7 千万円が税金である。この金額をベースに進めるのが基本と考えているが、利用者増加や料金の見直しによる収入増、特定財源の活用などを踏まえ、社会実験と実証運行で検討していく。その結果をもとに、利用状況や地域の活性化など、総合的に判断し、最終的に決めることになる。現時点では、現行の経費プラス特定財源の活用を考えている。

・当尾線は観光を目的とした路線という面も持っていると思うが、観光客が初めて加茂駅を訪れた場合、駅からバス停まで向かう際に、迷うこともあると思う。現在の案では、鉄道からバスの乗り換え時間が 4 分、バスから鉄道の乗り換え時間が 8 分となっている。加茂駅に電車が到着してからバスが発車するまで、4 分程度では厳しいのではないかと。帰る際には、バス停から鉄道まで特に問題なく行けると思うので、鉄道からバスへの乗り換え時間を 8 分と、逆にしてはどうか。

・当尾線の加茂駅の発時刻を、0 分や 5 分にしたら利用者は覚えやすいと思う。

- ▶ 当尾線のダイヤをずらすことが出来るかどうか、検討したい。鉄道に比べ、バスは遅れる可能性が高いので、バスから鉄道への乗り換えダイヤをあまり余裕のないものにすると、少し遅れただけで乗り換え出来なくなる。逆に、鉄道からバスに乗り換える場合、鉄道が遅れる可能性は小さいため、乗り換え時間が短くても乗り換え可能だと思う。現在の案では、加茂駅と加茂山の家での待機時間は同じになっているが、加茂駅の待機時間を若干長くするなど、ダイヤの微調整も考えられるのではないかと思う。

指摘いただいているダイヤの調整など、ここまでレベルの高い議論をしている会議は少ないと思う。相当良いダイヤになってきていると思う。鉄道との接続を念頭に置きながらも、なかなか実現できていないところが多いように思う。

加茂通学線は誰でも利用できるのか。

- ▶ 利用可能である。

神童子地区の予約型乗合タクシーは、具体的にどのようなシステムなのか。予約型タクシーで、直接、神童子から木津駅まで行くなど、利用者が様々な利用形態を思いつくと思う。

- ▶ ・乗合タクシーの路線は、神童子～山城老人福祉センター間で考えており、予約型乗合タクシーで直接、神童子から木津駅へ行くことはしない。神童子から木津駅まで行く場合は、予約型乗合タクシーから山城路線へ乗り継ぎ、そこから山城路線で木津駅に向かうことになる。その際、運賃の支払いは1回で利用できるように考えている。
 - ・神童子の集落内に乗合タクシーの停留所を設置し、利用したい人がいれば予約してもらい、運行することになる。時刻表は、山城路線との接続を考慮する必要がある。

回数券や1日乗車券などを、車内で販売することが出てくると思うが、事業者の方にご協力をよろしくお願いしたい。

再編案について、様々な前向きな意見をいただき、出来ることについては十分検討したいと思うが、全てを反映することは難しいと思う。利用者から見て、出来るだけ便利になるように努力したいと思う。

公共交通だよりの発行について
会議結果要旨のとおり。

【配布資料】

- ・No.7 公共交通だより（案）

【主な意見・質疑等】（…質疑・意見、▶…質疑・意見に対する返答）

- ・「タクシーを活用した路線にします」という表現があるが、好きなところへ連れて行ってもらえる、と受け取られるかもしれないため、タクシーという表現を使用することに違和感がある。
 - ▶ ・表現については、見直すこととする。

(3) その他

次回協議会開催日程について
会議結果要旨のとおり。

その他

会議結果要旨のとおり。

	4 . 閉 会 以上。
その他 特記事項	